

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1. 防犯灯等のLED化の促進を (40分)</p> <p>日本における防犯灯の歴史は、夜間における犯罪の防止及び公衆の安全を図る目的で、昭和36年に「防犯燈等整備対策要綱」が閣議決定されて始まったものとされています。また平成12年には「防犯照明に関する新基準」が定められました。</p> <p>夜間においては、防犯灯等による照度の確保によってある一定程度の犯罪抑止効果があることは周知の事実であり、市としても夜間における市全体の照度を確保することが必要であると思われます。</p> <p>しかし、現状としては住宅密集地や商業地域、コンビニや街路灯・公園灯があるところは照度が比較的高いものの、駅から離れた場所や住宅などの建物が少ない地域は極端に照度が低くなる傾向にあると思われます。</p> <p>鶴ヶ島市は、都内や県内他地域から電車で夜間に帰宅される方が多い地区であるので、防犯灯等を充実させることは非常に重要なことであると考え、以下質問します。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市の防犯灯・街路灯・道路照明灯の数について、またそれぞれの維持管理の方法について伺います。</p> <p>(2) (1)について、水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯、LED灯はそれぞれいくつずつありますか。導入・維持管理費用、電気代等のメリットデメリットについて伺います。</p> <p>(3) 他自治体のLED化導入状況及び全国及び埼玉県内の自治体の防犯灯・道路照明灯のLED化切りかえ状況について伺います。</p> <p>(4) 鶴ヶ島市において、新規に防犯灯を設置してほしいとの要望が市民から寄せられた場合、どのような手続きの流れになりますか。また、近年の実績をお示ください。</p> <p>(5) LED化によって防犯灯等の設置数が増やせると考えますが、市の見解は。</p>	<p>市長</p>